

平成29年度大阪府立伯太高等学校学校協議会第3回議事録

平成30年3月3日(土) 10:00～12:00

記録 楠本

協議会委員参加者

- 木村 朋子 (PTA会長・協議会会長)
- 田中 恒子 (地域教育相談員)
- 富永 順三 (㈱ナレッジパートナー代表プロデューサー、本校4期生)
- 西田 芳正 (大阪府立大学人間社会学部教授)
- 松井 昭浩 (和泉市立和泉中学校長)
- 山野 正広 (和泉市総務部人権・男女参画室長 兼 人権国際担当課長)

- 1 会長挨拶
- 2 平成29年度学校経営計画の評価及び平成30年度学校経営計画の概要
- 3 平成29年度学校教育自己診断の分析と評価
- 4 本校の校則について
- 5 平成30年度学校運営協議会について
- 6 本校の教育活動に関する意見交換
- 7 校長謝辞

[主な質問、意見等]

○は質問、 →は答え、 ●は意見や感想

- 教職員の長時間労働が問題になっているが、どんな取り組みがあるのか。
 - 週1回ノークラブデー、19時退勤デーだけでなく、会議を減らす、共通の授業で共通のプリントを使う、などがある。
- 教職員の働き方の実態に合わせて、加配したり、教職員定数を増やすなどできないかと思う。
- 保護者対応は時間がとられると思うが、(経験のない)初任者にはなかなか難しいので、専門の人を配置すべきではないか。
 - 専門家として、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーに応援をいただいている。
- 高校での出退勤はどんな形で行っているのか。

- 出勤、退勤ともカードでスリットしている。
- 「主体的で深い学び」を実現しようとしたら、40人学級では難しいと思う。行政のバックアップが必要だ。
- 部活動の顧問を外部講師に委託するのはどうか。
 - 来年度は10校で試行する。本校では、演劇部、ガラス工芸部、茶道部で、人材バンクから外部講師に協力をいただいている。
- クラブは強くなればなるほど（クラブ指導の）時間が長くなる。
- クラブの加入率は横ばいか。
 - そうだ。
- 所属意識を持つにはクラブ活動がとても大切。何らかの形でクラブ活動にかかわるということが大事である。従来の形ではないクラブ活動の形はないものか。
- 中学校ではクラブではないが、ボランティア活動で花植えをやっている。
- 校則は以前と比べて変わったのか。
 - あまり変わっていない。アルバイトについては、禁止から支障のない範囲で行う、に変わった。
- アルバイトを行うときは担任に申し出るとあるが、保護者の許可も必要だ。
- 校則で、祭礼の花代は禁止する、とあるが、他の学校もこのような校則があるのか。
 - この地域独特のものだと思う。
- 大阪府の条例で決まったが、生徒は自転車保険に入っているのか。
 - 全員入っている。
- 入試の受付はいつからいつまでか。
 - 3月2日（金）5日（月）、6日（火）まで。1クラス減なので6クラス募集になる。
- 今の1年生は7クラス募集で、何展開でやっているのか。
 - 7クラスを8クラスに増やしてやっている。来年度の1年生は6クラスを7クラスに展開する予定だ。
- 総合学科は府下いくつあるのか。
 - 14校ある。
- 創立40周年は何かしたのか。
 - 同窓会では50周年をしっかりとやりたい、ということであったので、40周年では、クリアファイルとタオルを作った。
- 学校教育自己診断で、授業で騒いだり私語したりする生徒がいるかどうか聞く質問があったが、自分は騒いだり私語していないかどうか聞く質問も必要ではないか。
 - 授業アンケートの中で、授業中私語したりせず説明を集中して聞いているかどうか聞く質問がある。
- 学校教育自己診断のいろいろな数値については、興味深いものがある。この数値を分析して、どうするのがよいか考えるのが大切。また、数値の変化について、丹念な読みを申し送り、長期的な観点で見る必要がある。数値の変化をどう読んだか、ということが大事だ。